

質問者 渡邊 直樹 議員

通告順1

質問事項 1	自治会や老人クラブ・集会施設の現状と今後について	質問の相手	町長
<p>[質問要旨]</p> <p>町内には、49自治会、12老人クラブあります。</p> <p>集会施設は、町所有の中央公民館や町民会館、地域振興センター（商工会）など22施設あり、地域所有の20施設を含め42カ所あります。「津別町公共施設等総合管理計画（平成29年）」では、集会施設のほとんどが昭和45年から55年代に建設されており、その多くが老朽化率100%で耐用年数を超えています。</p> <p>津別町は、高齢化や人口減少など地域コミュニティの維持に様々な課題を抱えており、今後も更に厳しい状況が予測されます。</p> <p>そこで、町内の自治会や老人クラブ、それらの集会施設の現状と今後における以下の項目について伺います。</p> <p>① 近年の自治会数、老人クラブ数の推移は。</p> <p>② 町から自治会、老人クラブへ助成する交付金（補助金）の目的と、用途の制約の有無は。</p> <p>③ 集会施設の維持管理の現状は。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設周辺や駐車場の草刈り ・施設周辺や駐車場の除排雪 ・老朽化する施設の維持、更新の考え ・特に玄関周辺の舗装やバリアフリー化 <p>④ 集会施設で自治会、老人クラブの会員の葬儀を行うことは可能か。</p> <p>⑤ 地域所有の集会施設解体時の助成拡充に対する考えは。</p> <p>⑥ 今後、更に戸数減少により自治会活動が難しくなっていくことが予想されるが、行政として自治会の在り方について、どのように考えているのか。</p>			

質問者 山田 英孝 議員

通告順2

質問事項 1	単身高齢者を社会が支える仕組みづくりについて	質問の 相手	町 長
<p>[質問要旨]</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所が本年11月12日に公表した都道府県別世帯数の将来推計では、世帯主が65歳以上の高齢者世帯のうち、一人暮らしの割合が北海道では2050年には46.2%に達し、全世帯に占める高齢者の一人暮らしは22.8%と、5世帯に1世帯は単身高齢者になると推計している。</p> <p>また、こうした単身高齢者の中で未婚者の比率が急増しており、全国比率で、65歳以上の単身男性高齢者の未婚者は2020年に34%、それが2050年には60%と増加。未婚者だけでなく配偶者と離別、死別した単身高齢者の中には、子どものいない人の増加も見込まれる。あわせて、家族や親族がいても交流がない、遠方のため身寄りがいない人もいる。</p> <p>高齢化率が高い津別町は、これらの数値より高い現状が推定されるが、このことにより、今まで家族が担ってきた様々な機能、例えば居住や病院、施設入所等の連帯保証、医療行為に関する同意や意思決定支援、金銭管理、死後の問題などの機能を、これからは社会で対応していく仕組みが必要と考える。誰もが尊厳のある人生が送れるように社会の側で環境整備を行っていくため、次の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 町内に居住している65歳以上の高齢者がいる世帯とそのうち単身高齢者世帯の数は。 ② 単身高齢者が公営住宅入居にあたって保証人がいない等の相談状況は。 ③ 認知症など判断能力が低下した単身高齢者で、成年後見制度の利用者数は。 ④ 身寄りがない、あるいは家族・親族がいても遠方で支援が受けられない人の入院したときの支援、入院や介護施設入所の際の身元保証、本人が死亡したときの葬儀や納骨、家財処分の死後事務などの対応を行う仕組みづくりが必要と思うが、どう考えているか。 			

質問者 山内 彬 議員

通告順3

質問事項 1	まちづくり懇談会の中止について	質問の 相手	町 長
<p>[質問要旨]</p> <p>11月28日開催の町議会臨時会における行政報告で今年度のまちづくり懇談会を中止する旨の報告がありましたが、次の点について伺います。</p> <p>① まちづくり懇談会を中止にすることとした経過と判断時期は。</p> <p>② 町長就任以来16回開催し、町民の声や翌年度の予算編成の参考にしてきたと思うが、今年への対応はどのようにするのか。</p> <p>③ 中止について自治会への周知や今後の対応は。</p>			

質問者 山内 彬 議員

通告順3

質問事項 2	安心して働ける役場の職場環境について	質問の 相手	町 長
<p>[質問要旨]</p> <p>職員に対して、快適な職場環境を提供することは、職員が健康で安全な環境で職務に専念するうえで欠かすことのできない配慮と考えられることから、次の点について伺います。</p> <p>① 職場の室内環境や快適な業務環境について、どのように確認や見直しを行っているのか。</p> <p>② 執務環境の配慮以外に業務の負荷や働き方について、一人一人に割り当てられている業務負荷が適切かどうかのチェックと、職場環境の改善と安全配慮をどのように行っているのか。</p>			

質問者 山内 彬 議員

通告順3

質問事項 3	地域エゾカについて	質問の 相手	町 長
<p>[質問要旨]</p> <p>11月14日にオープンしたサッポロドラッグストアから予てより津別町に地域版エゾカの導入について提案があり、町として導入に向け検討している状況のようであるが、商工会としては、導入に向けての説明会等の周知には協力をしているが、エゾカ導入は各会員の判断に委ねることとしている。</p> <p>このことから、地域版エゾカの導入に当たっては現状では商工会を中心とした運営組織をつくることは難しいと考えられるが、今後、町はどのような方法で運営にあたる組織をつくることを検討するのか伺います。</p>			

質問者 高橋 剛 議員

通告順4

質問事項 1	人口減少対策について	質問の 相手	町 長
<p>[質問要旨]</p> <p>現在、津別町の人口は4,000人を切り、減少が続いている。人口の減少は、津別町の財政や地域コミュニティなど、その影響は多岐にわたる。しかしながらこの問題は、津別町のみならず、多くの自治体が抱える共通の課題でもある。</p> <p>そこで、次の点について伺いたい。</p> <p>① 令和2年12月の私の一般質問において、町からは「将来の人口目標として、2060年の総人口を1,803人に維持したい」旨の答弁があった。しかしながら、厚生労働省の社会保障・人口問題研究所が、津別町の人口は2050年に1,852人になると予想している。現状を踏まえて、町は今現在も2060年の総人口を1,803人に維持という目標は変わっていないのか。</p> <p>② 同じく令和2年12月の私の一般質問において、「移住・定住者向けに思い切った施策を打ってはどうか」との問いに、「移住者にだけ特化していくかは、慎重に考えなければならない」旨の答弁があったが、その考えは変わっていないのか。</p> <p>③ 関係人口について、現在どのような取り組みを行っているのか。また、移住・定住につながったケースはあるのか。</p>			

質問者 小林 教行 議員

通告順5

質問事項 1	中学校の部活動について	質問の 相手	教育長
<p>[質問要旨]</p> <p>津別町議会は広く町民の声を町政に届けるべく、昨年度は2月、今年度は11月30日に意見交換を行った。</p> <p>様々な世代からの要望、建設的な意見が挙げられ、実りある意見交換会であり今後も続けていくべきであると感じた。</p> <p>しかし、そのなかで2月の意見交換会でも早急な対応を要望したが、なにも変わらなかったとの声があった。</p> <p>そこで、以下の点について伺いたい。</p> <p>① 本年3月の定例会で、渡邊議員と私の一般質問において、中学生の部活動で他校への送迎が保護者の負担になっており、改善策の議論がなされたが、どのような結果となったか。</p> <p>② 今後も生徒数の減少や、中学校教師の働き方改革等により様々な変化が予測される。今後中学生の部活動がどのようになっていくのか、現状と進め方は。</p>			

質問者 小林 教行 議員

通告順5

質問事項 2	津別町の森林環境「オフセットクレジット」について	質問の相手	町長
<p>[質問要旨]</p> <p>世界各地で台風・洪水・干ばつ等自然災害が多発しており、気候変動は世界中の人々の安全を脅かす問題となっている。異常気象が増えている一因としてCO₂排出量の増加による地球温暖化が挙げられているが、各地で対策が取られており、津別町も本年3月の定例会において、2050年までにCO₂排出量実質0を目指す「津別町ゼロカーボンシティ宣言」が表明された。</p> <p>我が町も愛林のまちとして、温暖化対策のために出来ることの一つに森林環境の整備が挙げられる。</p> <p>そこで、次の点について伺いたい。</p> <p>① オフセットクレジットの概要と現状に関して。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような制度であるか ・発行されたクレジットはどのように推移したか ・販売収益はどのように活用されたか <p>② オフセットクレジットの今後について、新たに発行する考えはあるか。</p>			

質問者 佐藤 久哉 議員

通告順6

質問事項 1	財政について	質問の 相手	町長
<p>[質問要旨]</p> <p>津別町の一般会計の財政状況について</p> <p>つい先日お隣の北見市で「財政健全化計画」が発表されました。何やら大変苦しい財政状況になっているようです。津別町は現時点で決して悪い財政状況ではないと認識していますが、投資的・大型事業が続き町民からは将来を不安視する声も聞かれます。</p> <p>そこで、いくつか気になる点について伺います。</p> <p>① これから、津別病院や特別養護老人ホームに対する大型の補助が見込まれるが、町長はこれらの財源をどのように調達する考えか。</p> <p>② 地方債残高が令和5年度決算において100億5千万円となっている。このうち国が負担してくれる債務を除いて、町が自力で返済しなければならない債務額がどれくらいあると認識しているのか。</p> <p>③ 財政の主な指標のうち、経常収支比率と実質公債費比率が今後上昇すると考えているが、町長の見通しはどのようなものか。また、今後比率を抑える必要はないのか。</p>			

質問者 篠原 真稚子 議員

通告順7

質問事項 1	小・中学生の不登校について	質問の 相手	教育長
<p>[質問要旨]</p> <p>(1)全国的に社会問題となっている不登校に関して津別町の状況はどのようになっているか伺います。</p> <p>(2)不登校になった児童生徒に対する学習支援のサポートはどのように対応しているか伺います。</p>			

質問者 篠原 真稚子 議員

通告順7

質問事項 2	高齢者のデジタル デバイド（情報格差）問題 について	質問の 相手	町 長
<p>[質問要旨]</p> <p>高齢化社会と社会のデジタル化に伴いインターネット等の情報通信技術（ICT）を利用できる人と、利用できない人との間にもたらされる格差が問題視されている。</p> <p>問題解決に向け、高齢者が何でも相談しやすい窓口環境を整えることが急務であると考え、窓口を設ける考えはないか伺います。</p>			

質問者 巴 光政 議員

通告順8

質問事項 1	町で管理する住宅の現状と課題について	質問の 相手	町 長
<p>[質問要旨]</p> <p>町営住宅への入居の関係で、入居基準により空き住宅があっても、入居したくても入れない状況があります。</p> <p>そこで、次の点について伺いたい。</p> <p>① 町営住宅の役割をどう考えているか。</p> <p>② 町営住宅の種類と戸数、入居、状況及び空室状況。</p> <p>③ 空き住宅の活用について、どのように考えるか。</p>			

質問者 村田 政義 議員

通告順9

質問事項 1	住宅整備について	質問の 相手	町 長
<p>[質問要旨]</p> <p>人口減少に歯止めを掛けるためにも、住宅整備をし、津別に移住出来る環境を整える必要があると考えられる事から、次の点について伺います。</p> <p>① 現在、町が管理する町営住宅、特定公共賃貸住宅、町有住宅があるが、入居状況と入居可能な空家は何戸あるのか。</p> <p>② 単身者世帯向け住宅が不足していると考えられるが、増設する考えはないのか。</p> <p>③ 役場職員、消防職員のための職員住宅は整備出来ないか。</p>			